

赤澤 康 宏

問 今後の市長の思いと、精神障がい者に対する考えはどうか。
答 三障がいを対象に考えていく。精神障がい者の病状で異なるが、農業分野等へ従事の考えがある。(市長)

問 従来の福祉作業所への今後の考えはどうか。
答 どの作業所に入るかで、当事者の処遇を左右するが、将来的には、A型やB型就労を目指していく。(市長)

問 窓口は、高齢者と障がい者担当の2か所とするか。
答 2か月が過ぎ、現在は一日二百人利用の日もあり安定しつつあるが、タクシー運転手や事業所に影響が出ており、その対処方法が今後の課題だ。(市長)



市障がい者千人雇用委員会

(市長)

新生活交通について

問 4月からの状況と問題点はどうか。
答 2か月が過ぎ、現在は一日二百人利用の日もあり安定しつつあるが、タクシー運転手や事業所に影響が出ており、その対処方法が今後の課題だ。(市長)

西森 頼 夫

問 市の周辺に行くほど、雪舟くんの人気は良い。市民は感謝をしている。一方、タクシー会社は大幅に減収している。タクシー利用者は激減し、会社の収入も減っており、運転手さんの給料が減少している。共存共栄で雪舟くんを走らせるとの方針が破たんしている。新年度にどのように改善する

か問われているがどうか。
答 委託業者には一台500万円、九台で4500万円の委託料を払っている。また、雪舟くんの利用料3000円のうち1000円は運行業者の収入である。来年度は新しい方式を考えなければならぬ。(市長)

問 タクシー券の復活が求められる。以前のよう元気な人には届かない、雪舟くんを利用できない人に限定して配布する。はざまにいる人も業者も元気になるような施策が求められるがどうか。
答 業者も市民も元気になるようにしていく。柔軟に対応したい。(市長)



雪舟くん

市長の文章や発言の横文字多用について

問 市長は声が大きく、歯切れもよいが、横文字が多くて理解できないし、意味不明だ。
答 以後気をつける。(市長)

秋山 律 郎

問 山手・清音・昭和地区で開催している地域市長室を他の地区でも開催してはどうか。
答 行うことで考えていく。(市長)

消防署昭和出張所の移転整備について

問 防災について市長の役割が一番大切なことは、市民の

命を守るということである。大きな地震が起きた際、耐震性に問題のある消防署昭和出張所は、消防署本来の機能が果たせないのではないか。早急に移転整備する必要があると考えるがどうか。
答 消防本来の機能が壊滅しやすいということであれば、市民を助けることはできない。したがって、消防署昭和出張所は、移転建て替えをするこ

ととして進めていく。(市長)

鬼ノ城の整備について

問 平成5年に整備委員会が発足し18年経った今日、第一期の整備が約十億円かけてできた。今後の整備計画はどうか。
答 整備対象遺構で未整備のものがある。引き続き平成23年度は南門、平成24年度は東門、平成25年度は礎石建物群の整備を予定している。(教育長)



消防署昭和出張所

問 9月の定例会で補正予算を提出する。(市長)

問 市民の皆様と、総社市議会と、市長が、ともにこの市をつくっているという大前提のもとに、この事業が早急に行われることを祈念する。



国道180号(混井~明治橋)

村木 理 英

問 国道180号混井堰~明治橋1712mが下校時大変危険と考えるがどうか。
答 街路灯がないために非常に危険と考える。(市長)

問 街灯が設置できない法的な理由があるのか。
答 法的な理由はない。

問 街灯の設置が急務と考える。必要ではないか。
答 必要である。(市長)

問 設置するか。
答 この街路灯は設置する。(市長)

問 いつまでに設置するのか。
答 本年度中に完了する。(市長)

問 本年度中の完了では、まだ冬が暗い。できるだけ早い段階で、設置は可能にならないか。